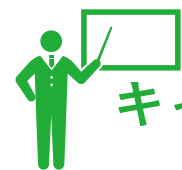


キャリアセンターの活動



キャリアプランニングに役立つセミナーの開催

- ・キャリアセンターガイダンス
- ・キャリアセミナー
- ・キャリア特別セミナー

入学直後より将来どのような医療人になるかを常に意識し、自律的な意思決定ができるよう、グループワークなどを通じて自己理解を進めます。また、医療現場、企業、自治体等の第一線で活躍中の方々によるセミナーも開催します。

- ・ワークルールセミナー

進路の決定や、実際に働くときに知っておくべき法律を学びます。

- ・就業体験事業

事業所のご協力を得て、本学部独自の就業体験事業を行います。

- ・業界研究セミナー

医療業界を中心に、仕事内容や現状、課題、求められる人材などについて、セミナーを通して学びます。



キャリア形成に関する個別相談の実施

学生が自分の進路を決定するうえでのさまざまな悩みや不安を丁寧に聴き、支援を行います。

当センターには1級・2級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)、ならびにキャリアコンサルタント(国家資格)が常駐しており、キャリア支援委員、指導教授、助言教員、学生支援室、学生相談室などが緊密に連携し、多角的にキャリア形成をサポートします。

本学学生に対する求人のお申し込み等を希望される
事業所の皆様のご来学を歓迎いたします。

求人に関する
お問い合わせは
こちらへ

大阪歯科大学 医療保健学部 キャリアセンター

〒573-1144 大阪府枚方市牧野本町1-4-4
tel:072-856-9948 fax:072-856-9978
e-mail: career@cc.osaka-dent.ac.jp
<https://www.osaka-dent.ac.jp/faculty/hs/career.html>

大阪歯科大学
医療保健学部
キャリアセンター

わたしが創る――
わたしが拓く――

採用ご担当のみなさま

大阪歯科大学医療保健学部は2017年4月に誕生しました。

本学部は「口腔保健学科」、ならびに「口腔工学科」の2学科を擁し、多様化する現代社会において、社会福祉も含めた広い視野から歯科医療を見つめ、またその発展に寄与できる「歯科医療人財」の育成に力を注いでいます。

口腔リハビリテーション学、口腔デジタル基礎工学、オーラルアプライアンス学といった特色あるカリキュラムと歯学部附属病院をはじめとする充実した教育環境のもと、本学部の学生たちは口腔から国民ひとりひとりの健康づくりに貢献できる「口腔保健のエキスパート」を目指し、日々懸命に学んでいます。

本学学生に対する選考につき、ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪歯科大学 医療保健学部 について

学生数

医療保健学部	入学定員	収容定員
口腔保健学科	70名	280名
口腔工学科	30名	120名

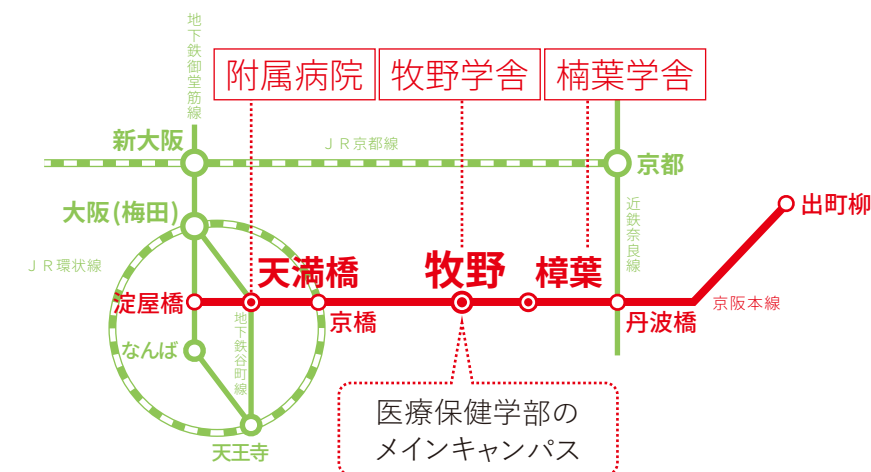
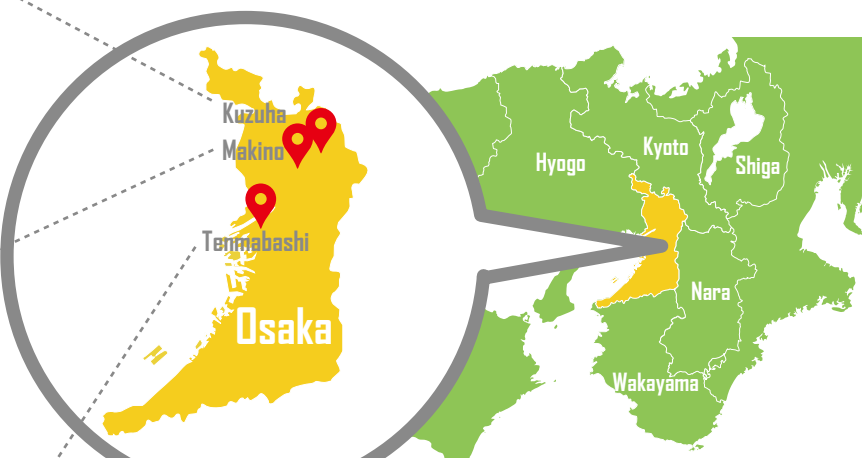
大学院医療保健学研究科口腔科学専攻

修士課程	入学定員 10名	収容定員 20名
博士課程(後期)	入学定員 3名	収容定員 9名

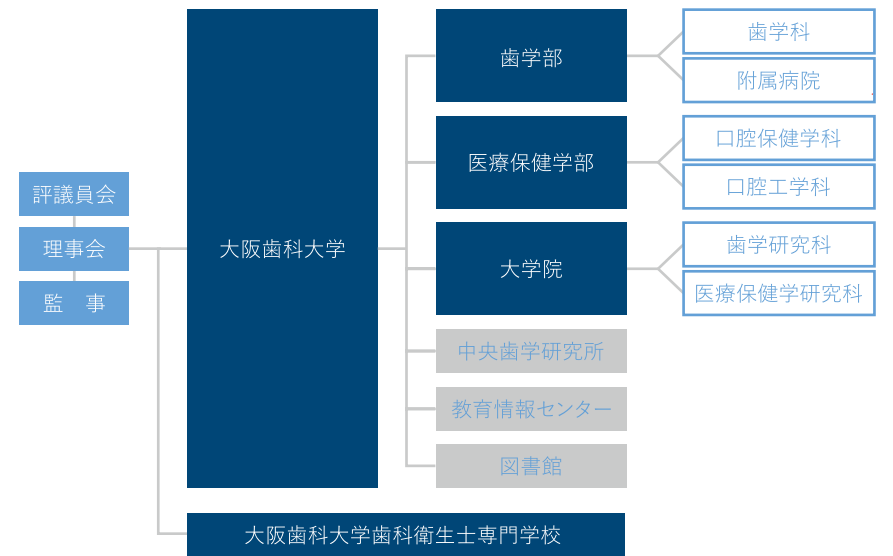
キャンパス

大阪と京都の中心地に位置し、立地環境にも恵まれた緑豊かな3つのキャンパスが学び舎です。メインキャンパスは牧野学舎です。

臨床実習を行う天満橋附属病院には、19の診療科と9つの専門外来があり、年間約25万人の患者さんを診療しています。高水準の規模と設備を擁し、学生のうちに多くの患者さんと接することができ、様々な症例にも対応しうる力を養うことができる環境が整っています。



組織図



沿革

「学校経営事業は営利に非ず 博愛公益のために努力するものなること」という創立者藤原市太郎の遺志は今も脈々と受け継がれており、超高齢社会を支える口腔のプロフェッショナルを輩出し、患者様に寄り添う歯科医療を追求し続けています。

1911年 12月 大阪歯科医学校 創設

1912年 1月 大阪歯科医学校 開校

1913年 10月 大阪歯科医学校附属医院 開設

1919年 1月 大阪歯科医学専門学校附属医院 開設

1935年 10月 大阪歯科医学専門学校天満橋附属医院 竣工

1947年 6月 大阪歯科大学(旧制)へ昇格

1949年 4月 大阪歯科大学(旧制)歯学部開設

1951年 3月 学校法人大阪歯科大学へ組織変更

1952年 4月 大阪歯科大学(新制)歯学部 設置認可

1955年 4月 大阪歯科大学(新制)進学課程設置

1964年 4月 附属歯科技工士養成所開設
(大阪歯科大学歯科技工士専門学校)

1968年 5月 附属歯科衛生士学校設置
(大阪歯科大学歯科衛生士専門学校)

2017年 4月 医療保健学部 開設

2018年 4月 大学院医療保健学研究科口腔科学専攻 開設



口腔保健学科

口腔から全身の健康、そして福祉まで視野に入れ、患者さんが健やかに暮らすための最善を考える

従来行われてきた歯科衛生士としての技術の修得に留まらず、衛生学、隣接医学領域や福祉領域の科目を充実し、より広く口腔保健について捉えることができ、指導していける人材の育成を目指しています。また専門学校時代の流れを汲み、附属病院をはじめとした医療機関や幼稚園、小学校などでの臨地実習に多くの時間を割いて、「現場がわかる」教育を実践しています。

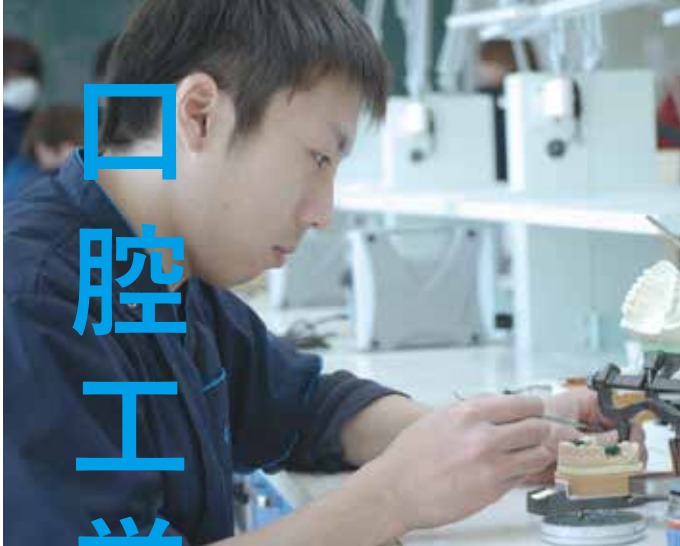
	1年次	2年次	3年次	4年次
	充実したカリキュラムで、 歯科医療人としての基礎を培う	歯科臨床科目を中心に、 理論と技術を徹底的に学ぶ	多職種連携、福祉の視点を 携えて、臨床現場で 実習する	これまで習得したことを 活かして、口腔からの 健康づくりを考える
基礎科目	キャリア教育学 医療保健教養学 情報教育学 語学教育学	医療保健学概論 / 早期臨床体験 / 医療倫理 文章表現 / 統計学 / 心理学Ⅰ / 運動生理学 / 物理学 / 化学 / 生物学 / 情報科学Ⅰ、Ⅱ 英語 / 中国語	英語コミュニケーション / 歯科英語	
専門基礎科目	口腔医療基礎学 社会系口腔科学 医療事務学	解剖組織学 / 口腔組織・発生学 / 生理学 / 口腔解剖学 / 口腔生理学 / 生化学・栄養学 / 口腔生化学 / 病理学・口腔病理学 / 薬理学 / 免疫・微生物学 / 歯科材料学 衛生学・公衆衛生学 / 社会福祉論Ⅰ / 社会保障論Ⅰ	歯科薬理学 口腔衛生学 / 社会学 / 社会調査学 / 医療制度Ⅰ 口腔衛生管理学 医療事務学Ⅰ、Ⅱ	医療制度Ⅱ
専門科目	歯科保存保健学 口腔機能修復学 口腔外科保健学 口腔保健予防学 高齢者口腔保健学 口腔リハビリテーション学 口腔デジタル工学	pick up 近年、若い年齢層では むし歯が減ってきており、高齢者では 健康な歯が増えています。 口腔衛生学 ではむし歯や歯周病の 予防法だけでなく、歯や口を健康に 保つための知識・技術等を 学びます。 保存修復学 / 歯内治療学 / 歯周病学 有床義歯学 / クラウンブリッジ学 / 審美歯科学 / 口腔インプラント学 / オーラルアプライアンス学 口腔外科学 / 感染予防学 / 歯科放射線学 / 麻酔学・歯科麻酔学 小児歯科学 / 歯科矯正学 / 予防歯科学 高齢者歯科学 口腔デジタル基礎工学	pick up 現代医療では 疾患治療後の患者さんの 生活を見据えた医療が必要です。 そのためには他の専門分野との 連携が必要となります。 医科歯科連携学 では、 多職種・地域連携等の必要と 実際の連携法を学びます。 pick up 口腔リハビリテーション学 では、 手術や病氣などで失われた 咀嚼や嚥下、発語の機能を最大限に 活かせるようにするための、心身両面 からのアプローチ手法について、基礎、 臨床双方の視点から学びます。 障害者歯科学 / 要介護者の口腔ケア 口腔機能障害学 / 口腔リハビリテーション学 / 口腔リハビリテーション実習	歯科保存保健学 口腔機能修復学 口腔外科保健学 口腔保健予防学 高齢者口腔保健学 口腔リハビリテーション学 口腔デジタル工学 歯科衛生学 口腔隣接医療学 総括教育科目

卒業時に取得できる学位
学士(口腔保健学)
卒業時に取得可能な受験資格

歯科衛生士国家資格
社会福祉士国家資格
(社会福祉士コース履修者のみ)



※ いずれも大阪歯科大学歯科衛生士専門学校 2017年度実績



口腔工学科

技術のその先にある、患者さんの生活の質をよりよいものにするために柔軟な発想と卓越した技術で応える

CAD/CAMをはじめ、現在目覚ましい発展を遂げているオーラルデジタルエンジニアリング。口腔工学科では最新の歯科医療技術や材料開発に対応でき、さらには口腔工学士として将来歯科技工士の指導的立場に立つ人材育成を目指しています。最新の機材を導入した、充実した実習カリキュラムによって技術力・実践力を磨くとともに、基礎歯科医学、隣接医学、福祉学領域についても幅広く学修し、学生が多角的な視点を持って社会で活躍できるような指導を実践しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	リベラルアーツから 基礎歯科医学まで 幅広く学ぶ	口腔工学の基礎を 徹底的に身に付ける	より実践的な口腔工学の 知識および技術を駆使して 専門実習に臨む	最先端の口腔工学の 視点から歯科医療技術の 新たな境地を目指す
基礎科目	キャリア教育学 医療保健教養学 情報教育学 語学教育学	医療保健学概論 / 早期臨床体験 / 医療倫理 文章表現 / 統計学 / 心理学Ⅰ / 運動生理学 / 物理学 / 化学 / 生物学 / 造形美術学概論 情報科学Ⅰ、Ⅱ 英語 / 中国語	英語コミュニケーション / 歯科英語	
専門基礎科目	口腔医療基礎学 社会系口腔科学 医療事務学	解剖組織学 / 口腔組織・発生学 / 薬理学 / 口腔解剖学 / 口腔解剖学実習 / 生理学 / 口腔生理学 / 口腔機能学 / 歯科理工学Ⅰ / 歯科理工学Ⅱ 社会福祉論Ⅰ / 社会保障論Ⅰ 社会学 / 社会調査学 / 医療制度Ⅰ	顎口腔機能学演習 / 歯科理工学演習 歯科技工管理学 医療事務学Ⅰ、Ⅱ	医療制度Ⅱ
専門科目	歯科保存保健学 口腔機能修復学 口腔外科保健学 口腔保健予防学 高齢者口腔保健学 口腔リハビリテーション学 口腔デジタル工学	pick up 咬合は全身の健康にも 大きな影響を与えます。 顎口腔機能学 では 咬合の基礎を、臨床の 視点から考えます。 保存修復学 / 歯内治療学 / 歯周病学 有床義歯学 / クラウンブリッジ学 / 審美歯科学 / 口腔インプラント学 / オーラルアプライアンス学 / オーラルアプライアンス技工学 口腔外科学 / 感染予防学 / 顎・生体技工学 小児歯科技工学 / 歯科矯正技工学 高齢者歯科学 口腔リハビリテーション学 口腔デジタル工学	pick up 口腔デジタル技工学演習 では、 CAD/CAMを駆使し、 さまざまな補綴装置を製作 できるようになるまでの 基礎を学びます。 障害者歯科学 口腔機能障害学 / 口腔リハビリテーション技工学 口腔デジタル技工学演習	pick up 口腔工学総論 では、 3年間の学修を大成します。 興味や関心を持ったことを探求し、 積極的な学修能力と 歯科医療技術の変化に 対応できる能力を身に付けます。 局部床義歯学実習Ⅲ / 口腔工学 / クラウンブリッジ技工学実習Ⅲ / 口腔工学病院臨床実習Ⅱ / 口腔工学訪問実習
	歯科技工学 口腔隣接医療学 総括教育科目	歯科技工学概論 歯科技工学概論 医療コミュニケーション学	審美歯科技工学実習 / 局部床義歯学実習Ⅱ / クラウンブリッジ技工学実習Ⅱ / 口腔インプラント技工学実習 / 口腔工学病院臨床実習Ⅰ 医学一般Ⅰ / 医学一般Ⅱ / 臨床検査学 / 医科歯科連携学 / 医科歯科連携学実習 / 臨床運動生理学 / 看護学概論 / 在宅介護論 / 歯科心身医学	局部床義歯学実習Ⅲ / 口腔工学 / クラウンブリッジ技工学実習Ⅲ / 口腔工学病院臨床実習Ⅱ / 口腔工学訪問実習

卒業時に取得できる学位
学士(口腔工学)
卒業時に取得可能な受験資格

歯科技工士国家資格
社会福祉士国家資格
(社会福祉士コース履修者のみ)



※ いずれも大阪歯科大学歯科技工士専門学校 2017年度実績



社会福祉士 コース

国家資格のダブル取得を目指す

歯科衛生士 + 社会福祉士
歯科技工士

歯科に関する知識と社会福祉に関する知識、
両方の知識があるからこそ、多角的に考え、
相談者に寄り添い、親身の支援ができる

1年次

心理学Ⅰ / 社会福祉論Ⅰ
地域福祉論Ⅰ / 社会保険論Ⅰ
高齢者福祉論 / 就労支援論
介護概論 / ソーシャルワーク論Ⅰ

2年次

社会学 / 社会調査学
社会福祉論Ⅱ / 社会保障論Ⅱ
地域福祉論Ⅱ / 医療制度Ⅰ
ソーシャルワーク論Ⅱ

3年次

医学一般Ⅰ / 医学一般Ⅱ
心理学Ⅱ / 社会福祉調査学
福祉行政と福祉計画
障害者福祉論 / 児童・家庭福祉論
権利擁護と成年後見論
社会福祉演習Ⅰ / 社会福祉演習Ⅱ
社会福祉実習指導Ⅰ

4年次

医療制度Ⅱ / 福祉経営論
公的扶助論 / 更生保護論
ソーシャルワーク論Ⅲ
社会福祉演習Ⅲ
社会福祉実習指導Ⅱ
社会福祉実習

福祉現場から
寄せられた声

・福祉の現場で口腔ケアの重要性を唱える人は多いが、これまではどうしても手薄になっていた。
歯科に関する知識と社会福祉に関する知識、両方持っている人材は大歓迎(社会福祉協議会)
・社会福祉領域のみならず、口腔領域からの支援ができる人材を是非採用したい(総合病院)

大学院 医療保健学 研究科

口腔保健学または口腔工学の高度な専門知識と技術を
持ち、教育者として、また研究者としてさらに能力を磨き、
医療保健学についての見識を深める

7つの研究分野

- 医療保健基礎学** 基礎歯科医学及び疫学研究の役割と臨床歯科医学への応用
- 医療保健教育学** 歯科医療職を目指す学生の教育方法ならびに実習指導のあり方
- 医療保健政策学** 医療保健福祉制度・施策、各専門職の役割・機能と多職種間の連携
- 口腔機能回復学** 口腔機能低下および口腔機能障害等における歯科医療のあり方
- 先進口腔保健学** 臨床現場での先進医療の現状分析、ならびに歯科衛生士の役割
- 口腔材料学** 歯科材料の物性、加工法、新たな応用法の検討
- 先進口腔工学** デジタル技術やレーザーの歯科医療への応用

修士課程

博士課程(後期)

日本各地、そして海外からも集う
多様な学生がともに学びます

本学で学んだ学生は、広い視野と
使命感を持って、社会に羽ばたきます



歯科と福祉
両方の知識が活
かせるになりたい
(口腔工学科 1年)

将来に関するアンケート… 進路に関して幅広く選択したいという考えを持つ学生が多い

口腔ケアのすばらしさ、
重要性を一般の方々に
わかってもらえるような
仕事がしたい
(口腔保健学科 2年)

歯科材料の
開発に携わりたい
(口腔工学科 2年)

4年制大学卒の
歯科衛生士として、
将来指導的立場に立てる
ようになりたい
(口腔保健学科・2年)

